

森・盛・オホーツク

林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

冬の自然観察会

寒気も少し緩みはじめた 2 月 19 日(日)、森林ボランティア「オホーツクの会」の要請を受け、「冬の自然観察会」の活動を当センターから 3 名が参加し支援しました。

当日は、「オホーツクの会」の会員と公募の参加者を合わせて 49 名の参加があり、スノーシューを履いて 8 班で、ポンポン山(弟子屈町川湯)を目指しました。

この「ポンポン山」は、山というより小高い丘のような地形で、硫黄山やかぶと山と並ぶアトサヌプリ火山群の一角で、地面を踏むと中が空洞のように「ポンポン」と音が鳴ることから、そう呼ばれています。



▽森林散策の様子

植物も毛皮を着る?!



▽「ポンポン山」での記念撮影

ポンポン山に至るまでの森林散策では、キタキツネ・エゾリス・エゾシカの足跡やフン、キツツキが空けた穴、エゾシカが樹皮を食べた痕等、森林の中での動物たちの営みを感じることができました。

また、毛皮をまとったような「キタコブシ」の冬芽、トゲや匂いで動物や虫から身を守ろうとする植物の生きるための知恵等を、ガイドからの説明を受けながら 1 時間 30 分、所々で蒸気の上がるポンポン山に到着しました。

参加者からは、「森林の清々しい空気と静寂さに癒やされました。」等の感想が寄せられました。

3 月の予定

- 3 月 11 日(土)
森林ボランティア「オホーツクの会」総会
- 3 月 22 日(水)
自然再生企画運営協議会



▽意見交換の様子

コープさっぽろ あした 「未来の森づくり」

1 月 28 日（土）、コープさっぽろ主催による「第 7 回 北海道の森林づくり交流会」が開催され北見会場に参加しました。

この交流会は、全道 10 箇所の会場をテレビ会議中継を結んで行われ、速見林業株式会社代表 速見 亨氏の「人がつくる森（森林再生の可能性）」の講演と対談、

苫小牧地区及び空知地区の森づくり活動の報告等が行われるとともに、北見会場では全体会議の前段でフリートーク形式で意見交換が行われました。

今後は、当センターの活動とコープさっぽろの「あすもり」（あした未来の森づくり）活動が連携して、地域の森づくりや森林環境教育に結びつくような取組みを検討したいと考えています。

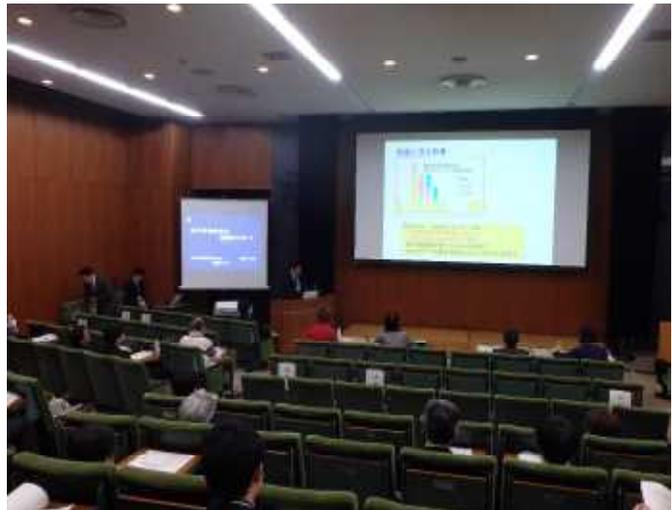
北の国・森林づくり技術交流発表会

2 月 2 ～ 3 日、北海道大学 学術交流会館で「北の国・森林づくり技術交流発表会」が開催され、当センターから「森林環境教育の推進をめざして～教員アンケートから見たこと～」と題して、北見市内 25 校の小学校の先生を対象とした、森林環境教育に関するアンケート調査の結果と考察について、近藤自然再生指導官が発表しました。

この発表会は、各ふれあいセンターや各森林管理署をはじめとして、高校生や NPO 団体・市町村等からも参加があり、「森林保全」「森林技術」「森林ふれあい」の 3 部門で 39 課題の発表となりました。

また、森林総合研究所北海道支所・林木育種センター北海道育種場、北海道立総合研究機構林業試験場から 3 課題の特別発表があり、その後、一般社団法人日本 CLT 協会から特別講演が行われました。

当センターの活動に取入れることができる発表が数多く、各所で取組んでいる様々な活動を見聞することができた、有意義な 2 日間となりました。



▽発表の様子

常呂川森林ふれあい推進センター
http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html
〒090-8588 北海道北見市北斗町 3 丁目 11 の 3
【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144

